

III 都市生活基盤分野

**都市生活基盤が整備され、すべての市民が快適で
安心・安全な生活をしている。**

柱1 秩序と賑わいのある快適なまちづくり【市街地整備】

適正で秩序ある都市計画により、中心市街地が賑わい、市民が安心・安全で快適な生活を送っている。

柱2 人にやさしいみちづくり【道路】

自動車で移動がしやすく、歩行者も安心して通行できる道路環境となっている。

柱3 花と緑あふれる公園づくり【公園緑地】

公園緑地が整備され、花と緑とうるおいのある空間が、確保されている。

柱4 公共下水道の普及促進【下水道】

下水道が整備され、生活環境の改善が図られている。

柱5 浸水被害のないまちづくり【治水】

河川が整備され、浸水被害が軽減し、市民の災害に対する不安が解消されている。

柱6 安心・安全な住環境の確保【住環境】

住環境が整備され、安心・安全な生活環境が確保されている。

柱7 健全な水道事業経営と安全な水の安定供給【上水道】

健全な経営と安全な水道水が安定的に供給され、市民が安心・安全に暮らしている。

まちづくり評価シート

都市整備部【担う分野:Ⅲ 都市生活基盤分野】

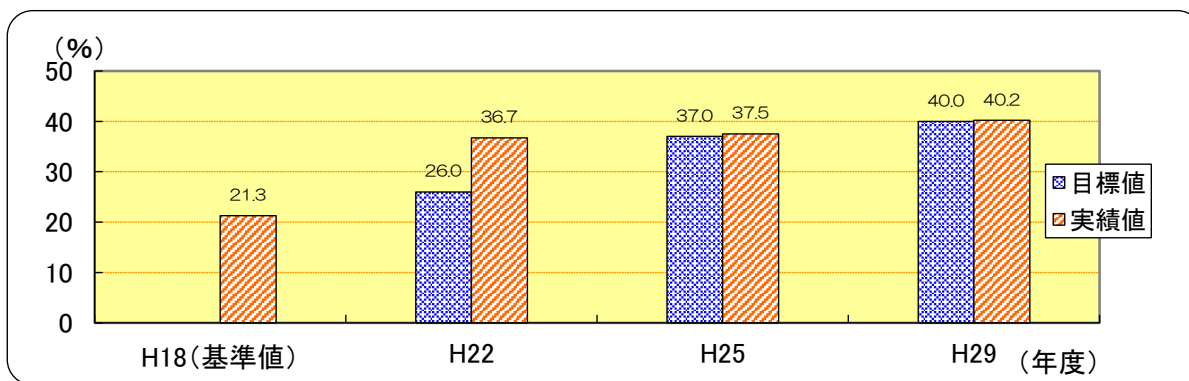
まちづくり課【担う柱:1 秩序と賑わいのある快適なまちづくり】

H30担当部・課 都市整備部(都市計画課)

◆まちづくり(成果目標)の達成状況

全体目標 秩序ある都市計画により、美しく賑わいのあるまちで生活している

指標名	秩序ある、美しいまちなみが形成されていると感じる市民の割合			
	単位	H18 (基準値)	H29	実績値の分析
目標値	%	—	40.0	様々な基盤整備を行う中で、特に鉄道駅付近における基盤整備が形となって市民の目に見える状況となり、美しいまちなみ形成の進展を実感できたことによるものと考えられる。
実績値		21.3	40.2	
達成率	%	—	100.5	
達成状況	—	—	☀	



全体目標に対するまちづくり評価

少しずつではあるが着実に都市計画道路の整備が進んでいること、また多くの市民が利用する鉄道駅付近の整備として、江南駅におけるシェルター設置等のバリアフリー化の完了により利便性が向上したこと、布袋駅における鉄道高架化事業及び布袋南部土地区画整理事業の進捗で整備が目に見える形で確認できるようになったことにより目標が達成されたと考えられるので、今後も早期完成に向けて、引き続き基盤整備を進めていくことが有効である。

個別目標① 適正な都市計画により、秩序があり美しく、快適なまちづくりが行われている

《H30担当課》都市計画課

指標名	都市計画道路の整備率						
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	66.8	68.4	70.1	71.7	・都市計画道路整備事業(布袋本町通線) ・都市計画道路整備事業(江南通北線)
実績値		64.5	66.9	67.3	67.5	67.5	
達成率	%	—	100.1	98.4	96.3	94.1	
達成状況	—	—	☀	☀	☀	☀	

取り組みの状況

市民	都市計画道路の必要性について理解を深め、沿線地権者の方々は用地を提供し、整備工事に協力した。
市役所	都市計画道路の整備に関する情報を市民へ伝えながら理解を求め、工事中には安全確保や速やかな完了を念頭に整備を行った。

目標達成のための今後の展開方針


都市計画道路の整備事業を進めていくにあたり、厳しい財政状況のなか、効率的な事業推進を図るため、地権者へ事業の必要性について理解を求めながら、粘り強く交渉を継続していく。

個別目標に対するまちづくり評価





時代のニーズに合ったまちづくりを推進するため、地元組織との調整を心がけてほしい。
まちづくりは現在の情勢を踏まえながら、将来を見据えた計画で進めてほしい。

個別目標② 魅力的で快適な市街地が整備され、多くの市民で賑わっている


《H30担当課》都市計画課

指標名	駅前や市街地が整備され、人々が集い賑わっていると感じる市民の割合						主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	
目標値	%	—	17.0	18.0	19.0	20.0	・江南駅バリアフリー化対策事業 ・布袋駅付近鉄道高架化整備事業
実績値		8.8	—	—	—	20.0	
達成率	%	—	—	—	—	100.0	
達成状況	—	—	—	—	—		
取り組みの状況							
市民	江南駅前広場シェルター設置工事や布袋駅付近鉄道高架化整備事業にあたり、事業への理解を深め工事に協力した。						
市役所	江南駅前広場シェルター設置工事や布袋駅付近鉄道高架化整備事業にあたり、地元と調整しながら工事を行い、駅利用者等の利便性の向上を図った。						

《H30担当課》都市計画課

指標名	江南駅・布袋駅の1日乗降客数						主な事務事業
	単位	H17 (基準値)	H26	H27	H28	H29	
目標値	人	—	34,300	34,400	34,500	34,600	・江南駅バリアフリー化対策事業 ・布袋駅付近鉄道高架化整備事業
実績値		33,800	33,900	35,127	35,723	36,044	
達成率	%	—	98.8	102.1	103.5	104.2	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	駅周辺が整備されたことにより、公共交通機関を積極的に利用した。						
市役所	江南駅前広場シェルター設置について地元と調整しながら工事を施工し、駅利用者等の利便性の向上を図った。 布袋駅の高架化を地元調整のうえ、共同事業者である愛知県及び施工者である鉄道事業者と協議しながら整備を進めた。						

《H30担当課》都市計画課

指標名	江南駅前広場を通過する車両の台数						主な事務事業
	単位	H17 (基準値)	H26	H27	H28	H29	
目標値	台	—	5,000	5,000	5,000	4,000	・江南駅周辺交通環境改善事業
実績値		8,800	—	—	—	5,976	
達成率	%	—	—	—	—	66.9	
達成状況	—	—	—	—	—		





取り組みの状況	
市民	駅利用と関係ない車両は、なるべく駅前広場の道路を利用しないようにした。
市役所	駅利用と関係ない車両は、駅前広場に流入しないように周辺道路を整備することにより駅前広場への進入を減少させた。

目標達成のための今後の展開方針
地元商店街等の団体、地元住民と調査研究を行いながら、駅前周辺の交通混雑の緩和及びバリアフリー化により、駅周辺の利便性や街の活性化につながる基盤整備を引き続き進めていく。 布袋地区において、新しいまちづくり体制の組織化及び魅力あるまちづくりを目的とする地元住民による自主的なまちづくり活動を支援していく。

個別目標に対するまちづくり評価
江南駅前広場のシェルター設置を始め、布袋駅及び周辺の基盤整備により駅利用者の利便が図られ、これらの整備効果が駅乗降客数の増加につながった一因として考えられ、駅前としての活気ある賑わいにつながったように感じられた。 布袋駅付近鉄道高架化の早期完了をめざし、愛知県、鉄道事業者との調整により、遅滞のない事業進捗に努められるとともに、布袋駅の玄関にふさわしい、交通結節機能の充実した賑わいのある駅前広場づくりを進められたい。

個別目標③ 土地区画整理事業などが行われ、快適な住環境で生活を送っている

《H30担当課》都市計画課

指標名	土地区画整理事業の進捗率						主な事務事業
	単位	H21 (基準値)	H26	H27	H28	H29	
目標値	%	—	93.3	93.3	93.4	93.4	・物件移転等補償事業
実績値		85.4	96.4	96.4	96.5	96.5	
達成率		—	103.3	103.3	103.3	103.3	
達成状況	—	—					

取り組みの状況	
市民	事業への理解を深め、物件移転に協力した。
市役所	地権者の理解・協力のもと物件移転を完了した。

目標達成のための今後の展開方針
事業の早期完了のため、職員のスキルアップや情報収集を行い、換地処分に係る事務手続きの準備を進めるとともに、積極的に情報提供を行うことで関係者の協力を得ていく。

個別目標に対するまちづくり評価
鉄道高架化事業完了後速やかに、事業として残っている道路等の所要整備を実施し、換地処分により事業が早期に完了できるよう計画的な執行に努められたい。

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

都市計画道路の整備によりネットワーク化が進むとともに安心・安全な歩行空間が確保され快適で暮らしやすいまちづくりにつながった。

また江南駅のバリアフリー化、布袋駅の鉄道高架化及び布袋南部土地地区画整理事業における基盤整備が進み、市民がこれらの状況を実際に見たり利用したりすることで満足度へつながり、引き続きこれらの取り組みを進めることが重要であることを認識した。

◆柱全体の今後の課題

多くの市民が利用する鉄道駅付近における基盤整備については、まちづくりを進める中で重要な役割を担っているため、社会情勢や財政状況等を踏まえ集中と選択をする中で、現在は布袋駅付近の整備を集中的に施行しており、江南駅付近の都市計画道路を始めとした基盤整備が遅れている状況である。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

国の交付金制度を活用し、布袋駅付近鉄道高架化及び関連事業を集中的に整備を進め、その完成を見据えながら江南駅付近における基盤整備やその他の都市計画道路の整備に向け、地元との調整や現状を把握、調査し計画するなどの準備を進めることが必要である。

まちづくり評価シート

都市整備部【担う分野:Ⅲ 都市生活基盤分野】

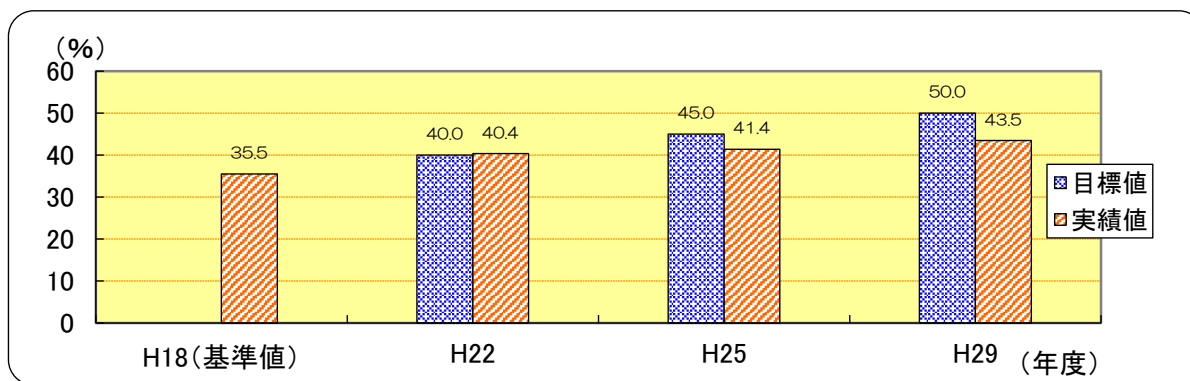
土木課【担う柱:2 人にやさしいまちづくり】

H30担当部・課 都市整備部(土木課)

◆まちづくり(成果目標)の達成状況

全体目標 道路が整備され、人や車が安全・快適に通行している

指標名	道路が整備され人や車が安全・快適に通行していると感じる市民の割合			
	単位	H18 (基準値)	H29	実績値の分析 市民が日常的に利用する道路を地元等の要望をもとに整備したことにより、概ね市民の満足度が得られたと考えられる。
目標値	%	—	50.0	
実績値	%	35.5	43.5	
達成率	%	—	87.0	
達成状況	—	—		



全体目標に対するまちづくり評価

道路が整備され、人や車が安全・快適に通行していると感じる市民の割合が、目標値に達していないものの増加傾向にあることは評価できる。今後は、目標値を上回るように施策を進めることを願いたい。

個別目標① 道路などの財産が適切に管理され、快適に利用している

《H30担当課》土木課

指標名	市道のアダプト制度の登録者数						
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業 ・アダプト・プログラム事業
目標値	人	—	710	780	870	940	
実績値	人	175	530	534	542	572	
達成率	%	—	74.6	68.5	62.3	60.9	
達成状況	—	—					

取り組みの状況

市民	道路・河川に愛着をもち、積極的にアダプト活動に参加した。
市役所	広報こうなんでアダプト活動の紹介を行うことにより、道路・河川に愛着をもたせ、道路施設に対する意識の高揚を図った。アダプトプログラム懇談会に出席し、参加者との交流を図るとともに、活動に係る課題や提案等について意見交換を行った。

目標達成のための今後の展開方針

広報こうなん、市ホームページで、アダプト制度の紹介を行い、アダプトプログラムの登録者数の増員を図っていく。

個別目標に対するまちづくり評価

市民ボランティアによる環境美化活動を支援することにより、市民に地域の道路・河川などに愛着をもたせることができるので、広報こうなん等でPRを行い、アダプトプログラムの登録者数の増員を図るよう努めていただきたい。

個別目標② 道路、橋りょう、排水施設が整備され、円滑な通行が確保されている

《H30担当課》土木課

指標名		主要市道の歩道整備率					主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	
目標値	%	—	72.0	73.0	74.0	75.0	・道路新設改良事業(市道後飛保和田線) ・道路新設改良事業(市道江南小牧線)
実績値		65.1	68.3	68.9	68.9	68.9	
達成率	%	—	94.9	94.4	93.1	91.9	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	区長等が歩道整備について市役所へ要望した。 地権者が用地買収及び物件移転補償に応じた。						
市役所	歩道整備に必要な道路用地を取得し、道路改良工事を施工した。						

《H30担当課》土木課

指標名		舗装整備率					主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	
目標値	%	—	93.0	94.0	94.0	95.0	・道路側溝・舗装工事等事業
実績値		89.1	92.6	92.7	92.7	93.1	
達成率	%	—	99.6	98.6	98.6	98.0	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	区長等が舗装整備について市役所へ要望した。						
市役所	区長等の要望をもとに、整備の必要性や事業効果を勘案し、舗装工事を施工した。						

《H30担当課》土木課

指標名		道路案内標識設置数					主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	
目標値	基	—	90	96	103	110	・道路側溝・舗装工事等事業
実績値		55	85	85	85	85	
達成率	%	—	94.4	88.5	82.5	77.3	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	区長等が、案内標識の設置について市役所へ要望した。						
市役所	区長等の要望をもとに、整備の必要性や事業効果を勘案し、道路案内標識を設置した。						

目標達成のための今後の展開方針

主要市道の歩道整備率向上のため、計画的・効率的な道路整備を実施する。
舗装整備率向上のため、整備の必要性や事業効果を勘案し、安全で安心できる道路づくりを推進する。
道路案内標識設置数については、道路利用者を安全かつスムーズに通行させるため計画的な整備を推進する。

個別目標に対するまちづくり評価

各指標について、目標達成のため様々な取組を実施しているが、目標を下回った。
市民が日常的に利用する道路であるため、今後は、目標値を上回るよう計画的・効率的に施策を推進していただきたい。

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

市民ボランティアによる環境美化活動を支援することにより、市民により一層地域の道路・河川などに愛着を持たせることができ、環境美化に対する認識は高まってきたと思われる。また、パトロールや市民からの要望等により確認した箇所について限られた財源の中で、修繕など適切な措置を講じるとともに、必要性が高い路線を選定し道路を計画的に整備することができた。

◆柱全体の今後の課題

市民満足度調査により、道路が整備され人や車が安全・快適に通行していると感じる市民の割合は、半数にも満たない約43.5%という結果である。
市民が日常的に利用する道路の安全性・利便性の向上に対するニーズが高まっていることを踏まえ、限られた財源においてより計画的、効率的な道路整備及び維持管理を行うことが大きな課題となる。
また、より質の高いサービスを提供するために財源の確保が必要となる。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

限られた財源の中で最大限の効果が得られるよう計画的・効率的な道路整備を実施する。
また、既存道路施設の老朽化対策のため維持管理費用の増大が予想されることから、定期点検により現状を把握し、中長期を見通した計画的な維持管理の実施により、コスト縮減・平準化を図りつつ、地域の道路網の安全性・信頼性を確保する。

まちづくり評価シート

都市整備部【担う分野:Ⅲ 都市生活基盤分野】

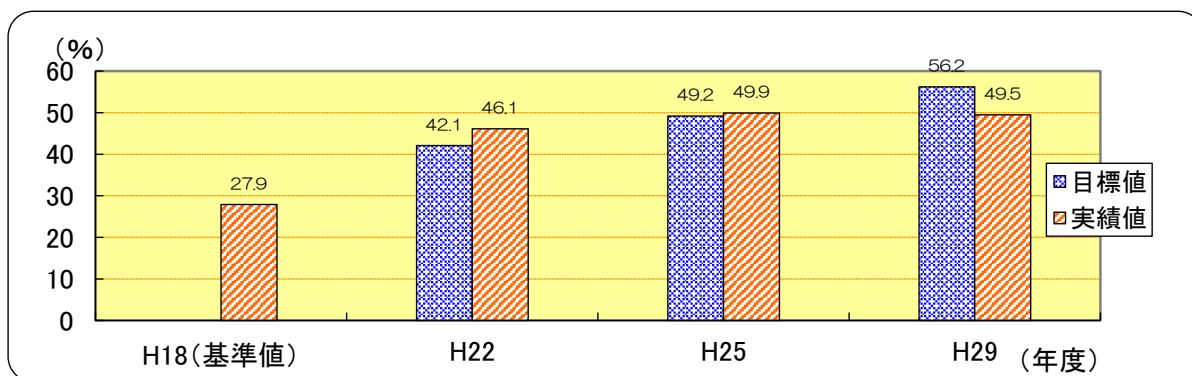
まちづくり課【担う柱:3 花と緑あふれる公園づくり】

H30担当部・課 都市整備部(都市計画課)

◆まちづくり(成果目標)の達成状況

全体目標 公園などが整備され、ゆとりとうるおいのある生活を送っている

指標名	ゆとりとうるおいのある生活を送っていると感じる市民の割合			
	単位	H18 (基準値)	H29	実績値の分析 以前は、フラワーパーク江南の開園や曼陀羅寺公園整備事業での藤の再生、遊歩道・サイクリングロードなどの整備により満足度は上昇傾向にあったが、近年は新規の公園整備が進んでおらず、目標値を下回った。
目標値	%	—	56.2	
実績値	%	27.9	49.5	
達成率	%	—	88.1	
達成状況	—	—		



全体目標に対するまちづくり評価

一人当たりの都市公園面積が全国平均を下回っている状況であり、特に市街地で公園が不足している状況であるため、今後も計画的な公園緑地の整備が求められる。

一方で、設置から年数が経過した公園施設が増加してきており、維持管理に係るコストも増加することが考えられる。安心・安全な公園施設を維持するための計画的な改修・更新を行っていく必要があると感じる。

個別目標① 都市公園等が整備され、日ごろから公園に歩いて行き、うるおいのある生活をしている

《H30担当課》都市計画課

指標名	市民1人当たりの都市公園面積						主な事務事業 ・街区公園等整備事業 ・木曾川上流域整備促進事業
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	
目標値	m ²	—	5.00	5.00	5.00	7.00	
実績値	m ²	2.52	3.77	3.84	3.89	3.90	
達成率	%	—	75.4	76.8	77.8	55.7	
達成状況	—	—					

取り組みの状況

市民	都市公園等を集いの場や遊びの場として適正に利用した。
市役所	公園施設長寿命化計画等に基づき、遊具や園路の更新などの施設整備を行なった。 国土交通省や財務省へ、国営公園の整備促進について要望した。

目標達成のための今後の展開方針





用地確保などの困難な問題もあり、公園等の整備については厳しい状況ではあるが、江南市緑の基本計画に沿った計画的な整備を進める。
フラワーパーク江南のⅡ期エリアについては整備工事が着手されて進みつつあり、早期開園に向けて継続して国に働きかける。

個別目標に対するまちづくり評価

市民1人当たりの都市公園面積は徐々に増加しているものの、国や県と比較して少ない状況に変化はなく、地域バランスのとれた身近な都市公園の設置に対する市民ニーズは高い。
今後も、江南市緑の基本計画に沿って、計画的に都市公園の整備を進めていくようお願いしたい。

個別目標② 都市緑化が推進され、うるおいとゆとりのある生活を送っている

《H30担当課》都市計画課

指標名	花いっぱい運動実施箇所数						
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	箇所	—	33	33	33	34	・緑化推進事業 ・江南花卉園芸公園イベント実行委員会補助金交付事業
実績値		25	34	34	33	32	
達成率	%	—	103.0	103.0	100.0	94.1	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	花壇やプランターなどに植栽して花を育て、花いっぱいコンクールに応募した。 緑の募金運動や花いっぱい運動に協力し、募金や花の植栽、水やり・除草などに参加した。 シンボルツリーの配付を受けて樹木を植栽し、自宅などの緑化を推進した。 保全地区等指定補助金の交付を受けて、保全地区等の樹木を適切に管理した。						
市役所	市内の公道に面した場所で、道行く人々に安らぎを与え、明るく楽しい街かどをつくりだしている花壇等に対するコンクールを開催した。 花いっぱい運動で花苗及び必要に応じて培養土や肥料を配付した。 江南市緑の基本計画における施策「樹木の配布による緑化の支援の充実」のため、シンボルツリー配付事業を実施した。						

目標達成のための今後の展開方針





花いっぱい運動やシンボルツリー配付などの緑化の取り組みや緑化補助金の活用などのさらなる普及を目指し、積極的なPRに努め、申請件数の増加を図る。
江南花卉園芸公園イベント実行委員会への補助金交付は、イベントで年々入園者数が増加することで、花卉園芸公園を通して緑化への関心が深まるとともに、公園の区域拡大を促進する効果も見込めるため、継続していく。

個別目標に対するまちづくり評価

花いっぱい運動実施箇所数は横ばいの状態が続いているが、新たな花壇の整備などは用地確保の問題もあり困難な状況のため、箇所数の大幅な増加は望めない。今後は、現在行っている箇所数を維持していく方を検討していくことも必要である。
花いっぱいコンクール、都市緑化推進事業補助金、シンボルツリーの配付、保全地区等指定補助金などについては、参加・申請件数の増加に向けて、より積極的なPRをしていく必要がある。

個別目標③ 地域で維持管理される公園・緑地等が増え、適切に利用されている

《H30担当課》都市計画課

指標名 地域で管理されている公園緑地などの数							
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	箇所	—	34	34	34	35	公園等維持管理事業
実績値		28	35	35	43	43	
達成率		%	—	102.9	102.9	126.5	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	公園等の清掃を地元区として市から受託し、地元のつどい場として適切に利用した。地元にある公園などの清掃・除草が地元区でできないか検討した。						
市役所	公園等が安心・安全に利用できるよう施設の点検を行い、不良箇所の適切な対応に努めた。公園等の清掃・除草などの委託について地元区と協議した。						

目標達成のための今後の展開方針

新規の公園等について、地元委託に向けての協議を行っていくとともに、既存の市管理の公園等について、地元の意向を確認しながら地元委託を進めていく。

個別目標に対するまちづくり評価

地元区等に清掃委託している公園等の数は、目標値を上回っていて評価できる。既に市からシルバー人材センターへ清掃委託している公園等の清掃・除草を地元区に依頼するのは難しい面があるが、タイミングを捉えて地元の意向を聞きながら進めることを努力されたい。

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

中央公園園路等の改修や蘇南公園園路のバリアフリー化、公園・児童遊園などのフェンスの改修等を施工し、公園などの整備を図った。
都市公園である国営木曽三川公園フラワーパーク江南の開園区域が拡大し、公園等の充実を図ることができた。
花いっぱいコンクール、花いっぱい運動、シンボルツリー配付事業、都市緑化推進事業により、市民の緑化意識は高まった。

◆柱全体の今後の課題

今後の都市公園の整備については厳しい状況にあるが、平成29年度、30年度において策定する次期江南市緑の基本計画において具体的な基本方針を定め、計画的に整備を進める必要がある。
花いっぱいコンクールや花いっぱい運動のさらなる普及に努め、市民の緑化意識の高揚を図る必要がある。
新規に設置する公園等について、地元で清掃委託できるよう地元区と協議を進めながら整備していく必要がある。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

今後の都市公園の整備については、次期江南市緑の基本計画に沿って整備を進めるとともに、フラワーパーク江南Ⅱ期エリアの早期開園について要望活動を行い、都市公園面積の増加を図る。
策定した都市公園施設長寿命化計画により、計画的な改修・更新を進める。
新規に設置する公園等については、地元で清掃委託できるよう地元区と協議を進めながら整備する。

まちづくり評価シート

水道部【担う分野:Ⅲ 都市生活基盤分野】

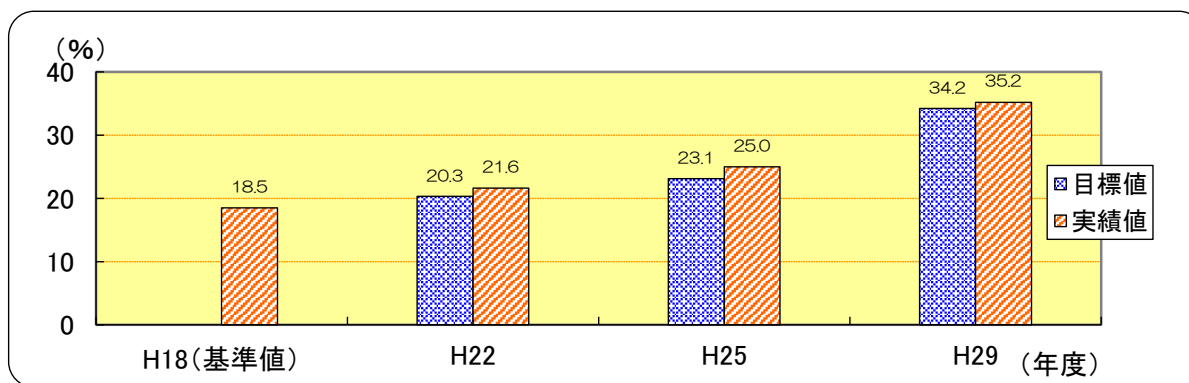
下水道課【担う柱:4 公共下水道の普及促進】

H30担当部・課 水道部(下水道課)

◆まちづくり(成果目標)の達成状況

全体目標 下水道が整備され、快適な水環境のもとで生活している

指標名	下水道普及率			実績値の分析
	単位	H18 (基準値)	H29	
目標値	%	—	34.2	市民の清潔で快適な生活環境の向上のため下水道整備促進に努め、目標を達成した。
実績値		18.5	35.2	
達成率	%	—	102.9	
達成状況	—	—	☀	



全体目標に対するまちづくり評価

下水道普及率の実績値(平成29年度)は35.2%で目標値を達成することができたが、県下における下水道普及率78.0%(平成29年度)に比べると大きく遅れている。今後は更に事業の進捗を図り、下水道普及率を向上させる必要がある。





個別目標① 下水道使用料、受益者負担金の収納率が向上し、健全で安定した下水道事業が運営されている

《H30担当課》下水道課

指標名	下水道使用料の収納率(現年度)						主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	
目標値	%	—	↑	↑	↑	↑	・下水道使用料賦課徴収事業
実績値		98.9	99.5	99.6	99.7	99.7	
達成率		%	—	100.6	100.7	100.8	
達成状況	—	—	☀	☀	☀	☀	

取り組みの状況

市民	下水道使用料を期限内に納付した。
市役所	下水道使用料のコンビニ収納を導入し、納付機会の拡大により納付者の利便性を高めながら納期限内納付を推進し収納率の向上を図った。

指標名		受益者負担金の収納率(現年度)					
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値		—	↑	↑	↑	↑	・受益者負担金賦課徴収事業
実績値	%	98.8	99.3	99.4	99.2	99.8	
達成率	%	—	100.5	100.6	100.4	101.0	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	下水道受益者負担金を期限内に納付した。						
市役所	受益者負担金の徴収及び啓発活動に努めた。						





目標達成のための今後の展開方針





下水道使用料については、コンビニ収納等により納付者の利便性を高めながら納期限内納付を推進し収納率の向上を図る。受益者負担金の収納率を向上させるために、供用開始説明会や市民まつり等イベントの折に受益者負担金に対する理解を得られるよう努力する。滞納者や未接続者に対しては戸別訪問を行い、下水道事業への理解を求めていく。

個別目標に対するまちづくり評価

下水道使用料、受益者負担金の適切な徴収は、事業の健全な経営及び住民間の公平性の確保につながる。今後もさらなる取り組みが必要である。

個別目標② 下水道が整備され、生活環境が向上している

指標名		市街化区域内の整備率					
	単位	H19 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値		—	56.6	58.4	65.6	72.6	・管きよ布設事業
実績値	%	39.8	56.5	58.4	65.6	72.5	
達成率	%	—	99.8	100.0	100.0	99.9	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	下水道工事説明会に参加し、下水道管の埋設工事に対し理解した。						
市役所	整備地区の全世帯を対象に工事説明会を開催し、パワーポイントを用いるなどわかりやすく説明を行った。設計書の積算、工事現場の監督業務等を行い、住民生活への配慮を図りながら下水道整備区域の拡大を進めた。						

指標名		供用開始区域内の接続率					
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	85.0	88.0	91.0	93.0	・排水設備関連事業
実績値		67.3	86.0	90.0	90.9	91.0	
達成率		—	101.2	102.3	99.9	97.8	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	自然環境への効果等下水道の役割、必要性の理解を深めた。 下水道への接続を行った。						
市役所	職員が未接続宅を個別訪問し、下水道の必要性を説明し、早期の接続依頼を行った。 排水設備の申請を受け付け、書類審査、補助金交付、検査等一連の事務を行った。						

目標達成のための今後の展開方針

早期の普及率増大のため下水道の面整備を重点的に進め、費用対効果の高い事業を進めていく。
未接続宅の早期接続を促すため、供用開始後の訪問を早期に実施していく。

個別目標に対するまちづくり評価

江南市の下水道事業は、五条川右岸流域下水道事業として進められ、他の構成市町の事業進捗も考慮し事業を進めていく必要がある。厳しい財政状況下ではあるが、普及率向上のため早期整備が必要と考えられる。下水道事業は都市基盤施設のひとつであり、河川環境の保全を第一の目標としている。環境問題が高まるなか、市民の環境への意識も高まりつつあり、早期に事業を進める必要がある。

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

平成26年度は26.8ha、平成27年度は28.1ha、平成28年度は53.0ha、平成29年度は50.6haの区域を整備し、平成30年3月31日現在546.6haが下水道を使える区域になっている。

◆柱全体の今後の課題

平成29年度末の江南市下水道普及率35.2%は県下の供用開始市町において下位となっており、愛知県の普及率78.0%(名古屋市を除くと68.7%)や、全国平均の78.8%と比べると大きく遅れている。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

江南市の下水道普及率は県等の平均と比べて低い水準である。事業の進捗を図るため、複数年一括発注等のコスト縮減の取り組みを進め、費用対効果の高い手法を用いた整備を推進し、下水道普及率の向上に努めると共に、未接続宅の早期接続を促し下水道使用料の収納率の向上を図るなど下水道事業の健全な経営に努めたい。

まちづくり評価シート

都市整備部【担う分野:Ⅲ 都市生活基盤分野】


土木課【担う柱:5 浸水被害のないまちづくり】

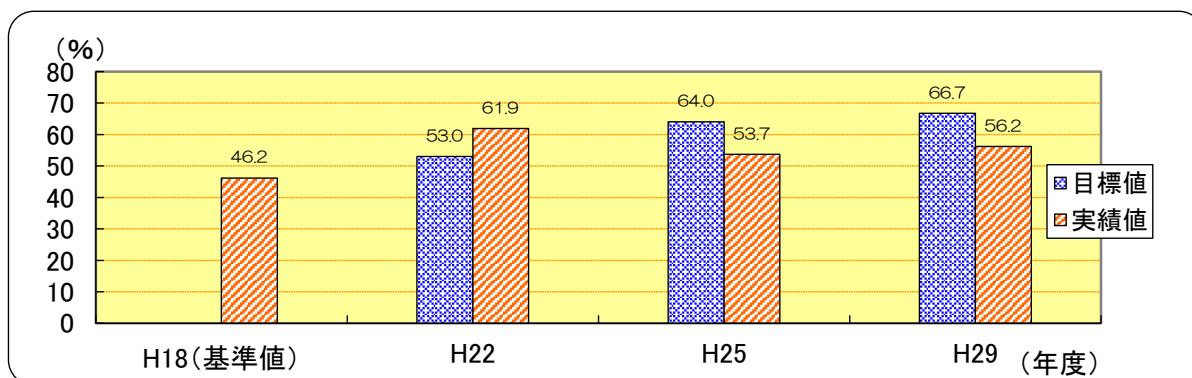
H30担当部・課

水道部(下水道課)

◆まちづくり(成果目標)の達成状況

全体目標 河川等が整備され浸水被害に遭うことなく、安心して暮らしている

指標名	河川が整備され、安心して暮らしていると感じる市民の割合			
	単位	H18 (基準値)	H29	実績値の分析 雨水貯留浸透施設設置費等の補助率を見直すとともに公共施設への雨水貯留施設を整備するなどの治水対策を実施してきたが、近年のゲリラ豪雨などにより、市民の浸水被害に対する不安が増大したことから、目標値を下回ったと考えられる。
目標値	%	—	66.7	
実績値	%	46.2	56.2	
達成率	%	—	84.3	
達成状況	—	—		







全体目標に対するまちづくり評価

平成22年3月に策定された河川・排水路対策、流域対策及び浸水被害軽減対策等を含めた第3次江南市総合治水計画に基づき、公共施設への雨水貯留施設の整備を進めているが、今後の整備状況や進捗率が、この先の評価に現れると考えられる。

また、平成24年度に補助率が見直された雨水貯留浸透施設設置費補助制度及び浸水防止施設設置費補助制度を市民の方により一層周知してもらいたい。

個別目標① 河川等の改修整備と雨水抑制機能が強化され、浸水被害が軽減している





《H30担当課》下水道課

指標名	準用河川般若川改修率						
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業 ・準用河川般若川改修事業
目標値	%	—	100.0	100.0	100.0	100.0	
実績値	%	86.0	92.0	92.0	92.0	92.0	
達成率	%	—	92.0	92.0	92.0	92.0	
達成状況	—	—					





取り組みの状況

市民	
市役所	一部未改修の区間について、般若川の下流地域の状況をみながら、改修を検討した。

《H30担当課》下水道課

指標名		雨水貯留浸透施設設置費補助金申請件数					
	単位	H22 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	件	—	200	200	200	200	・雨水抑制事業
実績値		52	166	123	110	46	
達成率		%	—	83.0	61.5	55.0	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	補助金の申請件数46件、雨水浸透柵口径350mm2基、300mm5基、雨水貯留槽(雨水タンク)48基、浸透防止施設134.5mを設置した。						
市役所	雨水貯留浸透施設(雨水浸透柵、雨水貯留槽、浸透トレンチ、透水性舗装)を設置するお願いを広報やホームページを通じてPRし、また、建築確認の段階で設置のお願い文書を送付した。						

《H30担当課》下水道課

指標名		雨水浸透柵設置数					
	単位	H21 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	基	—	115	115	115	115	・雨水抑制事業
実績値		115	13	8	2	7	
達成率		%	—	11.3	7.0	1.7	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	補助金制度を利用して雨水浸透柵口径350mm2基、300mm5基を設置した。						
市役所	雨水貯留浸透施設(雨水浸透柵、雨水貯留槽、浸透トレンチ、透水性舗装)を設置するお願いを広報やホームページを通じてPRし、また、建築確認の段階で設置のお願い文書を送付した。						

目標達成のための今後の展開方針

浸水被害の軽減に有効な手段である雨水貯留浸透施設の設置について、行政事業レビューの指摘精査により、今まで以上のPR活動を行い、より一層設置してもらえるよう努めていく。また近年ゲリラ豪雨などによる浸水被害が多く発生することにより治水対策のニーズが高まっており、第3次江南市総合治水計画に基づく公共施設への雨水貯留施設建設を進めていく。平成28年度では山尻町地内に雨水貯留施設建設を完成した。今後は次の候補地となる公共施設及び関係機関と協議を進めていく。

個別目標に対するまちづくり評価

雨水貯留槽の設置は、順調に伸びているようだが、浸透トレンチや透水性舗装、雨水浸透柵の設置は伸び悩んでいるようなので、今後もPRを続け設置者が増加するよう努力されたい。

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

平成24年度に雨水貯留浸透施設設置費補助金交付要綱及び浸水防止施設設置費補助金交付要綱を改正し、補助率を4分の3から10分の9に引き上げたことにより、市民がより利用しやすい補助金制度とした。また、第3次江南市総合治水計画に基づき、公共施設に雨水貯留施設を整備したことにより、豪雨災害による被害の軽減を図ることができた。

◆柱全体の今後の課題

第3次江南市総合治水計画に基づき、ひきつづき公共施設への雨水貯留施設の整備を進めるにあたり、効率的・効果的に実施していくかが課題となる。雨水貯留槽、浸透柵、浸透トレンチ及び透水性舗装の雨水貯留浸透施設や浸水防止施設の設置普及に努めるにあたり、広報こうなんや市ホームページのほか、いかに広く市民にPRしていくかが課題となる。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

第3次江南市総合治水計画で示している重点地区の中で、緊急度の高い地区から順に雨水貯留施設を設置し浸水被害の軽減に努めていくとともに、市民が担う治水対策となる雨水貯留浸透施設や浸水防止施設の設置を普及するためより一層のPRに努める。

まちづくり評価シート

都市整備部【担う分野:Ⅲ 都市生活基盤分野】

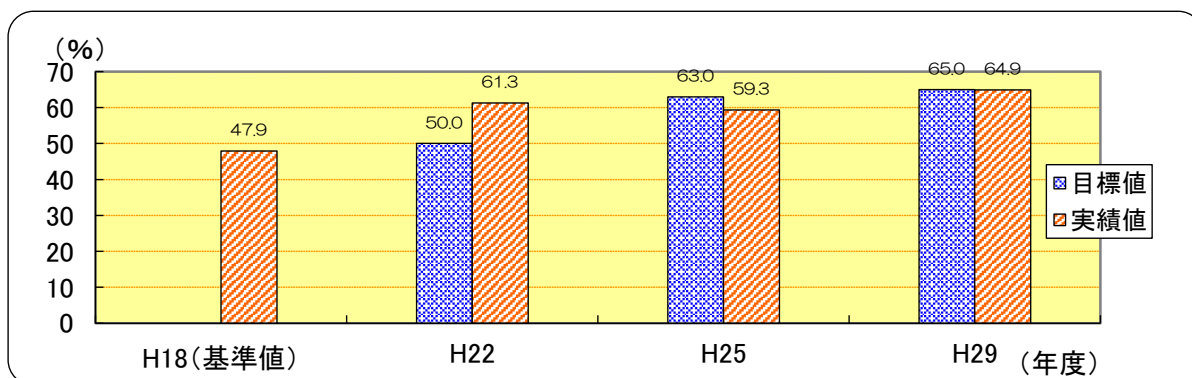
建築課【担う柱:6 安心・安全な住環境の確保】

H30担当部・課 都市整備部(建築課)

◆まちづくり(成果目標)の達成状況

全体目標 住環境が整備され、安心・安全な生活環境が確保されている

指標名	住環境が整備され、安心・安全な生活環境が確保されていると感じる市民の割合			
	単位	H18 (基準値)	H29	実績値の分析
目標値	%	—	65.0	建築士などと協働により建築パトロールを行ったことや、適切な開発指導を行うことにより、民間開発区域内に適正な道路・緑地等が整備され、周辺の生活環境が保たれたことが評価されたと考えられる。
実績値		47.9	64.9	
達成率	%	—	99.8	
達成状況	—	—	☀	



全体目標に対するまちづくり評価

住環境が整備され、安心・安全な生活環境が確保されていると感じる市民の割合は、64.9%を得ており、おおむね年度目標を達成している。空き家問題や地震に対する市民の関心が高まる中、空家等に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、建物の耐震化の促進と、減災化の対策についても更なる検討をしていただき、さらに民間の建築開発等指導員との協働により違反建築パトロールを実施するなど、施策の推進をお願いしたい。





個別目標① 建築指導及び開発指導の民間組織との協働での取り組みは、安心・安全への住民意識を高揚させている





《H30担当課》建築課

指標名	開発許可や建築許可に対する指導件数						
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	件	—	260	260	260	260	・開発行為指導事業
実績値		265	190	203	271	239	
達成率	%	—	136.8	128.1	95.9	108.8	
達成状況	—	—	☀	☀	☀	☀	

取り組みの状況

市民	都市計画法の開発行為等に関する許可基準に照らし、地域にあった健全なまちづくりに協力している。
市役所	都市計画法の開発行為等に関する許可基準に照らし、民間活力による安心で安全なまちづくりの指導に努めた。

指標名 民間での建築確認割合							
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	94.0	95.0	96.0	97.0	・建築確認審査等事業
実績値		84.4	97.5	98.6	99.1	99.0	
達成率		—	103.7	103.8	103.2	102.1	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	愛知県と愛知県から委嘱された建築開発等指導員(市内建築士)と協働で違反建築物防止のため、建築現場をパトロールした。						
市役所	民間組織での建築確認をチェックし、定期的に建築現場をパトロールした。						

指標名 耐震診断の診断実施済棟数							
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	棟	—	3,250	3,500	3,750	4,000	・民間木造住宅耐震診断事業 ・民間木造住宅耐震補強事業
実績値		798	2,486	2,521	2,580	2,607	
達成率		—	76.5	72.0	68.8	65.2	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	昭和55年以前の建物であるため、耐震診断を行った。						
市役所	啓発パンフレットを用いて、耐震化の意識啓発を行った。						

目標達成のための今後の展開方針

開発許可や建築許可については、法令・許可基準に照らし合わせ適切に指導していく。また、既存コミュニティの維持や、定住人口の確保及び地域の活性化を図るために、江南市都市計画法に基づく開発行為等の許可の基準に関する条例に基づき事務を遂行していく。

民間での建築確認件数の割合は、近年はほぼ横ばいとなっているが、建築基準法に規定する限定特定行政庁として、法令に基づき、民間組織への適正な指導を引き続き行っていく。

耐震診断の診断実施済棟数については、従来から行っている情報提供、啓発、普及活動に加えて、区域や対象者を限定した直接訪問によるPR等の新たな手法を検討する。





空き家対策については、空き家等対策計画を策定し、総合的かつ計画的に推進する。

個別目標に対するまちづくり評価

建築指導及び開発指導並びに木造住宅耐震化の促進に対する民間組織との協働での取り組みにより、住民の安心・安全への意識啓発を図る努力は評価できる。さらに安心・安全な住環境を確保できるよう、民間組織と連携を図り、効果的な建築・開発指導等をお願いしたい。

個別目標② 市営住宅は、住民による施設運営への参加により、安心・安全な生活環境が確保されている

《H30担当課》建築課

指標名	適切に整備・維持管理がなされている市営住宅の住宅戸数						
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	戸	—	153	153	153	153	・住宅維持・管理事務 ・市営住宅長寿命化事業 ・住宅賃貸事務
実績値		153	153	153	153	153	
達成率	%	—	100.0	100.0	100.0	100.0	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	施設維持管理(共用部分の清掃、低木の剪定・消毒、草刈り)を自治会で行った。 自治会等で市営住宅の注意事項を確認した。						
市役所	住宅設備の保守点検や維持管理及び各種必要な修繕を行った。 広報こうなん等で空き家募集を行い住宅供給を行った。 公営住宅等長寿命化計画に基づき屋根・外壁等改修工事を行った。						

目標達成のための今後の展開方針

市営住宅の長寿命化事業としては、計画に基づき外壁等の改修を定期的に行うこととし、必要な設備改修などについても退去時に行うよう実施していく。また、入居者に対して共同住宅における注意事項についても自治会と連携して周知を図っていく。

個別目標に対するまちづくり評価

入居者が健康で文化的な生活を送るために、施設の維持管理に努めていることは評価できる。今後も公営住宅の入居希望者は継続的な需要があると思われる、市民への市営住宅を含めた公営住宅の募集案内などの情報提供をお願いしたい。

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

愛知県建築指導課・廃棄物対策課や建築士の協力を得て、パトロールを実施し、建築現場や建物解体現場で、適正な指導をすることができた。耐震改修補助については、減災化及び高齢者、障害者等災害時における避難弱者への対応を目的とした、シェルター整備費に対して補助を行った。また、市内全域の空家等実態調査を実施し、市内の空き家の実態を把握することができた。

◆柱全体の今後の課題

適切な管理が行われていない空き家が地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼしていることや、増加が予想される空き家の利活用の促進が課題となる。耐震化の必要な木造住宅について、耐震事業の申込件数が伸び悩んでいる。開発行為指導については、コンパクトシティを意識すると同時に、高齢化社会に向けて、既存コミュニティの維持や、定住人口の確保及び地域の活性化が課題となる。市営住宅については、建物が老朽化しているため、計画的な修繕が必要であり、将来的な市営住宅の役割について検討が必要である。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

安心・安全な住環境を確保するため、耐震化の必要な木造住宅について、耐震化率の向上に向けてのさらなる施策を検討する必要がある。空き家対策については、空家等対策計画を策定し、空家等に関する施策を総合的かつ計画的に推進する必要がある。市営住宅については、現在行っている外壁改修及び屋上防水工事等の長寿命化を図る修繕計画を進めるとともに、市営住宅の適切な運営のために入居者が契約内容・注意事項を遵守するよう努める。また高齢化や人口減少等の社会情勢の変化を注視しつつ、市営住宅の建替え又は民間住宅の借り上げ等、将来的な方向性について検討する必要がある。

まちづくり評価シート

水道部【担う分野:Ⅲ 都市生活基盤分野】

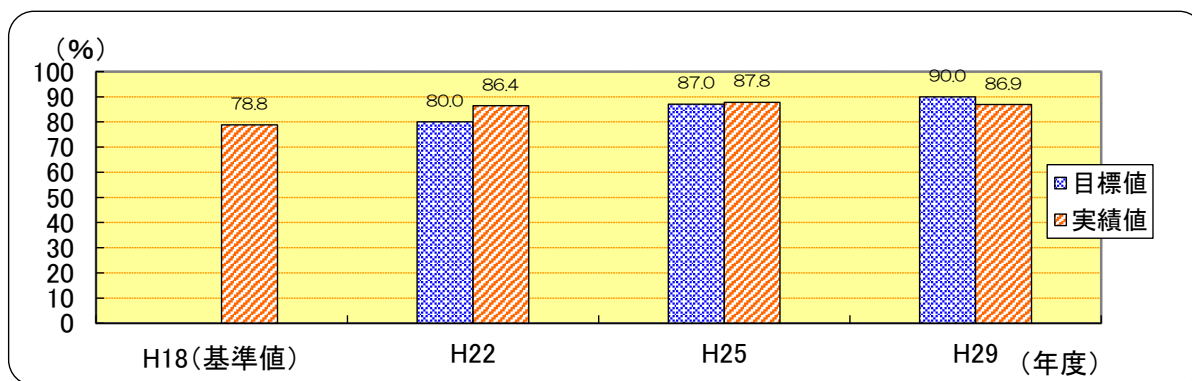
水道課【担う柱:7 健全な水道事業経営と安全な水の安定供給】

H30担当部・課 水道部(水道課)

◆まちづくり(成果目標)の達成状況

全体目標 健全な経営と水道施設の整備が行われ安全な水道水が安定的に供給され、市民は安心して利用している

指標名	安全な水が安定して供給されていると感じる市民の割合			
	単位	H18 (基準値)	H29	実績値の分析 安心・安全な水の安定供給により、大規模断水や水質事故などによる不便を感じることなく水道の利用ができたことから、市民満足度調査では目標値を下回るものの達成率96.6%となり、達成状況としては晴れマークとなった。
目標値	%	—	90.0	
実績値	%	78.8	86.9	
達成率	%	—	96.6	
達成状況	—	—	☀	



全体目標に対するまちづくり評価

市民満足度調査結果においては、「安全な水の安定供給」に対して約87%の市民が満足している。水需要の減少にともない給水収益が低下する中で、大規模災害にも高いレベルで対応できる強靱なインフラであることが求められている。
持続可能な健全経営と水道施設の耐震化が必要とされ、基幹管路を含めた配水管の耐震化と併せ、老朽管等の更新を計画的に進めるとともに、水道事業が健全経営できるよう水道事業経営のあり方について十分に検討されたい。

個別目標① 水道事業が適正に運営され、健全な経営が行われている

《H30担当課》水道課

指標名	水道料金の収入率(現年度)						
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業 ・水道料金賦課等事業
目標値	%	—	↑	↑	↑	↑	
実績値	%	98.4	99.5	99.7	99.7	99.7	
達成率	%	—	101.1	101.3	101.3	101.3	
達成状況	—	—	☀	☀	☀	☀	

取り組みの状況

市民	水道料金の早期納付に努めた。
市役所	市民のライフスタイルの多様化に対応するため、終日払込みが可能なコンビニエンスストアでの納入を平成21年4月1日より開始し、利便性が向上した。

《H30担当課》水道課

指標名		総収支比率					
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	106.2	106.2	106.2	106.2	・企業会計管理事業 ・職員給与管理事業
実績値		109.7	108.4	112.7	112.7	108.1	
達成率		—	102.1	106.1	106.1	101.8	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	水道料金の支払いに際し、収納コストの安い口座振替を利用した。						
市役所	給水収益が減少するなか、業務委託による事務の効率化などにより経費を削減し、利益を確保した。 財政推計により計画的に事業を執行した。						

《H30担当課》水道課

指標名		水道普及率					
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	89.2	92.5	93.0	93.5	・簡易水道事業
実績値		88.8	93.5	93.8	93.9	94.1	
達成率		—	104.8	101.4	101.0	100.6	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	市水道事業への統合に向け、簡易水道組合で意見、要望を調整し合意した。						
市役所	厚生労働省からの事業変更認可に基づき、簡易水道事業を平成26年10月1日に統合した。						

目標達成のための今後の展開方針

有収水量の減少や老朽化した施設の更新に向けた財源の確保などさまざまな課題を抱えている中、健全かつ安定的な水道事業経営を継続するため、経営状況を把握・分析し、将来予測の精査・見直しを行ったうえで、実現可能な財政計画として経営戦略を策定する。
収入率の向上及び安定化のため、口座振替の利用促進に努める。
水道事業の経営基盤強化と適正かつ効率的な経営を維持するため、江南市水道事業経営審議会において水道料金のあり方を含む経営方針等について継続的に審議する。

個別目標に対するまちづくり評価

安定的・効率的な事業を継続していくためには、施設の更新に向けた財源の確保が必要である。
水道事業の健全経営のため、経営効率化と高い収入率による公平性の確保に努められたい。

個別目標② 水道施設が整備され、安定した水道水が供給されている

《H30担当課》水道課

指標名 配水管改良整備率							
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	79.9	81.0	82.4	83.9	・配水管布設・改良事業
実績値		72.1	80.3	81.8	83.2	84.4	
達成率		—	100.5	101.0	101.0	100.6	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	配水管路に係る濁水発生などの情報を提供した。						
市役所	配水管路の状況を把握し、第2次配水管改良計画(H18～H27)及び第3次配水管改良計画(H28～H37)に基づき、配水管布設・改良工事を実施した。						

《H30担当課》水道課

指標名 地下水の許可揚水量活利用率							
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	98.0	98.0	98.0	98.0	・施設維持管理事業 ・取水、配水事業
実績値		93.8	90.9	96.1	92.3	90.0	
達成率		—	92.8	98.1	94.2	91.8	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	地下水の水質を悪化させないよう、環境に配慮した。						
市役所	取水井の水中ポンプの入替工事をするとともに、井戸の浚渫を実施することにより、地下水揚水量の低下を防止した。						

《H30担当課》水道課

指標名 有収率							
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	93.0	94.0	94.1	94.2	・配水管布設替事業 ・配水管等維持管理事業
実績値		91.4	92.8	93.5	93.5	93.8	
達成率		—	99.8	99.5	99.4	99.6	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	道路上など漏水箇所に係る情報を提供した。 宅内において、漏水箇所の発見後速やかに修理を行った。						
市役所	配水管改良計画に基づき、老朽管等の布設替えを行うことにより配水管からの漏水を予防し、発見された漏水箇所については速やかに修理した。 メーター検針時に、使用水量の変化と量水器の動作確認を行い、漏水の疑いがある場合には、水道使用者へお知らせを実施することにより、速やかな漏水への対応を促した。						

指標名		基幹管路更新整備率					
	単位	H28 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	—	—	—	3.6	・基幹管路更新事業
実績値		0.0	—	—	—	1.4	
達成率		—	—	—	—	38.9	
達成状況	—	—	—	—	↑		
取り組みの状況							
市民	基幹管路更新事業にあたり、管路の老朽度や耐震適合性等について理解を深め、事業の必要性を認識した。						
市役所	第1次基幹管路更新計画(H26～H43)に基づき、平成29年度より工事に着手し、平成31、32年度工事計画区間の測量設計委託を実施した。						

目標達成のための今後の展開方針

基幹管路について、第1次基幹管路更新計画(H26～H43)に基づき、平成29年度から重要給水施設に繋がる管路ルートの更新を進めていく。
 配水支管について、第3次配水管改良計画(H28～H37)に基づき、平成28年度から引続き老朽管等の更新を進めるとともに、重要給水施設に繋がる管路ルートの更新も進めていく。
 地下水の有効利用について、引続き浚渫を行うことにより揚水能力の維持向上に努めるとともに、揚水規制の範囲内で各水源の取水量の調整を図る。

個別目標に対するまちづくり評価

安全な水道水の安定供給を維持していくためには、水道施設整備の充実が必要である。
 想定される地震に対応するため、耐震性のある材料の使用を積極的に進められるとともに、事業継続計画(BCP)に基づく事前対策を実施されたい。
 地下水の有効利用については、依然として揚水量が低下傾向であるため、浚渫に合わせて薬品洗浄を実施し、さらなる地下水の有効利用に努められたい。
 未改良管の更新工事を行い、有収率の向上に努められたい。

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

節水機器の普及、水需要の低下により給水収益が減少する中で、業務委託による事務の効率化などにより利益を確保し、安定した経営状況を維持することができた。
 収入率の向上をめざし、手数料が安価な口座振替による納付を推進し、コンビニ収納による利便性と併せて高い収入率を確保することができた。
 配水管改良計画に基づく工事などの実施により有収率を改善するとともに、定期的な取水井浚渫により井戸の保全に努めることで、揚水能力の低下を防止することができた。

◆柱全体の今後の課題

水需要の低迷、老朽施設の更新、法的要求事項の高度化など、水を取り巻く厳しい社会情勢のなか、量の充足からより安全でおいしい水の安定供給、及び大規模地震などを想定した危機管理体制の充実など、水道事業に求められるものは多種多様である。
 こうしたなか、適切な事業計画に基づく健全な財政運営が引き続き求められる。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

有収水量の減少、基幹管路等の施設の更新に向けた財源の確保、サービス水準の向上などさまざまな課題を抱えている。
 今後、安定的・効率的な事業を継続していくために、適正な定員管理や積極的な情報開示とともに、的確な需要予測に基づく計画性・透明性の高い企業経営を推進する。